一般質問通告一覧表

※質問予定日は変更になる場合があります

令和4年3月定例会 No.1

発言	氏 名(会派)	佰 口	罪 匕	<i>た</i> ナー	→ ±
順位	[質問予定日]	項目	要旨	答弁	, .
1	藤 田 昌 隆 (新風クラブ) [3月8日]	1. 新産業集積エリア 整備事業と周辺道路 整備について	1. 新産業集積エリアの進捗状況及び造成方法について 2. 分割造成の面積と工事スケジュールについて 3. 周辺道路整備(県道・市道)の工事進捗等について	市	長
		2. 通学路・踏切道の 対策について	1. 交通対策協議会における要望・件数・内容 2. 通学路点検結果と対策について (1)通学路点検における危険箇所件数、内容について (2)通学路緊急対策の概要について (3)補助を活用した対策の実施について、対象となる要望について、補助を積極的に活用すべきと思うが、その考えは? 3. 市内踏切道の危険箇所と対策について (1)「改良すべき踏切道」指定状況について (2)幡崎踏切など危険な踏切があるにもかかわらず指定されていないのか。 指定を国に要望し、対策を講じるべきと思うが	市教育	長長
2	田村弘子(立憲民主党議員団)	1. 通級指導教室	1. 通級指導教室の現状についてどう思ってあるのか 2. 令和3年12月に佐賀県へ要望を提出したと伺っているが、 内容を教えて頂きたい 3. 通級指導教室の今後についてどう考えてあるのか	市教育	
		2. 教育の質の保ち方	1. 学校に行くことができない子供達に教育の質をどのように保たれていましたか 2. 学級・学年閉鎖及び、濃厚接触者としての待機期間が発生する前提で、鳥栖市はどの様な準備を行ってありましたか 3. 出席停止中の全ての子供たちにオンライン授業又はタブレットを使って健康観察は行われていたのでしょうか(対象学年と内容)	市 教育	長長
		3. 放課後児童クラブ	1. R 4年度の申込者数 2. 前年度と比べての総括(増減の理由を教えていただきたい) 3. 入所できなかった方への対応 4. 第2期鳥栖市子ども・子育て支援事業計画と乖離がある理 由	市 教育	長 手
3	森 山 林 (自民党鳥和会) [3月8日]	1. 林副市長に問う	1. 鳥栖市の印象について 2. 鳥栖市の九州における果たす役割について 3. 鳥栖市の現状について(強み・弱み) 4. 副市長自身の役割について	市	長
		2. 農業経営収入保険 制度への加入促進に ついて	1. 収入保険の仕組みについて (1)収入保険の対象者は (2)補償の対象は (3)品目の対象は (4)補てんの内容について (5)補てん限度額について 2. 現在の加入状況 (1)全国、県内、鳥栖市の加入状況と補助の財源について	市	長

	エトノハー		一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		No. Z
発言 順位	氏 名 (会派) [質問予定日]	項目	要旨	答判	ř者
4	緒 方 俊 之 (自民党鳥和会) [3月8日]	1. 中央公園整備について	1. 近年、豪雨時に京町周辺が冠水するが、中央公園池の調整池としての機能は改善されているのか 2. 中央公園の池に蓋をして全面芝生広場にできないか。雨水貯留浸透設備等を活用することで、大雨時の調整池としての機能を拡大し、地上面を広々とした芝生公園として利用できる。 公園横フレスポ調整池の上にデッキを張りテラス席等を設置することで公園とフレスポの仕切りを無くすことができ、より多くの市民に活用していただける中心市街地に位置する市民の憩いの広場となる事が期待できる	市	長
		2. 鳥栖駅東西連携について	1. 本鳥栖町の地下道(人、自転車、バイク)を拡幅し車も通れるトンネルにしてはどうか 高橋の渋滞緩和が期待できる	市	長
		3. 鳥栖地区アスリー ト寮について	1. 現状(4月からの入居者数、地域) 2. 鳥栖市独自の支援は出来ないのか 3. 2024 国スポ以降の県補助金について	市 教育	長
5	尼 寺 省 悟 (日本共産党議員団)	1. 新産業集積エリア について	1. エリア関連の許可申請が2月の農業委員会で大差で不同意との採決がなされたが、その経緯及び市農業委員会から県への意見書の内容について 2. 許可申請が不同意となったことについての市長の受け止めは 3. 意見書を県に送付した後どう進むのか。県の対応に対する市、農業委員会の対応は 4. 市農業委員会は、この許可申請を受理して審査したが、農地法違反状態を是正していない段階で受理するのは法令に反しないのか 5. 申請の際の添付書類について有効期限は3か月以内とあるが、どうか。12月の一般質問で、排水同意書などが地元からとれず、必要な申請ができていないとあったが、その後どうなったのか。不要になったのか	市農業委	長貴会長
		2. 環境問題について	1. マテリアルリサイクル推進施設について (1)候補地の面積について (2)現在の進捗状況は (3)既存施設の継続使用についての地元合意と見通しは 2. 今後の焼却施設の考え方について 3. 資源物回収について (1)市の資源物回収の状況は。あらたな対応が必要ではないのか (2)プラ新法の取組は	市	長
		3. 水道問題について	1. 財政状況について 2. 水道会計は高収益が続いているが、料金の引き下げなどの 市民への還元は	市	長

発言	氏 名(会派)	15 口	# L	<i>た</i> ₩_/\ →	×.
順位	[質問予定日]	項目	要旨	答弁者	
<u>順位</u> 6	飛 公 明 9 日]	1. 防災拠点・新庁舎 について	1. 基本理念『市民の暮らしと安全・安心を支える拠点』と5つの基本方針について ・「防災拠点となる安全な庁舎」 ・「誰もが利用しやすい庁舎」 ・「機能的かつ経済的な庁舎」 ・「晴民が親しみやすい庁舎」 ・「環境に配慮した庁舎」とは 2. ユニバーサルデザインについて (1)障がい者団体などのご意見は反映されているか (2)車いす使用者用駐車場とパーキングパーミット、サイン表示など、について 3. 指定の福祉避難所の機能が整備されていない場合、新庁舎で福祉避難場所としての機能を備えた活用の考えと、大規模災害時の避難場所として活用は? 4. 災害時における通信回線の確保は? 5. 市民にとって災害や防災について学べる施設か? ・防災グッズ・災害の備え・ハザードマップなどの掲示、避難、イベントなど、防災を学ぶ場所に! 6. 現庁舎で女子トイレの個室への生理用品配備と、新庁舎での生理用品配備は? 7. 冷水器や災害対応型自販機設置の見解	市	
		2. 新産業集積エリア 整備事業について	1. 1月4日に報告があった農地法違反是正の経緯 2. 何が変わったことで、許可申請が提出できるようになったのか? 3. 農地転用許可申請書について市農業委員会の対応 4. 開発許可申請書について市都市計画課の対応 5. 県の対応(担当部署・課の見解) 6. 排水同意書と地元同意書の考え方 7. 行政と民間の開発行為は、必要な書類等に違いはあるか?なければ、今後、民間開発も同じ対応か? 8. 農地法違反発覚より5年。止まったままの新産業集積エリア事業の負担増となった金額は? 9. 今後のスケジュールについて、いつ事業開始か? 10. これまでの経緯に対する市長の見解は。市民の皆様へのメッセージは?	農業委員会	-
7	永 江 ゆ き (彩りの会)	1. 農林水産省が打ち たてている「みどり の食料システム戦 略」に対する鳥栖市 の見解について	 鳥栖市において、カーボンニュートラル宣言はしないのか? 国内の肥料のほとんどが海外に依存していることについて3. 持続可能な食料システムを作ることが急務とされることについて 	市!	旻
		2. 資源生ゴミについて	1. 現状について 2. 100%生ゴミを有効活用することはできないか?	市	<u></u>
		3. 学校教育について	1.公立中学校で校則や宿題がない学校について鳥栖市の見解は?2.不登校の子どもたちのニーズの把握をどのようにしているか?	市場教育員	
		4. 食育について	 食育を学校でどのようにしているか 時間は足りているのか 	市場教育員	曼曼
		5. 子どものマスクと ワクチンについて	1. 子どものマスクのメリットとデメリット2. 子どものワクチンのメリットとデメリット	市身	- 1

	令和4年3月定例会 №.4					
発言 順位	氏 名(会派) [質問予定日]	項目	要旨	答弁	渚	
8	伊藤克也 (新風クラブ) [3月9日]	1. サガン鳥栖U-15 練習環境について	1. サガン鳥栖U-15の練習環境について。 サガン鳥栖アカデミーの活躍は目覚ましく、トップチームで、多くのアカデミー出身選手が活躍している。U-15は、高円宮杯JFA第33回全日本U-15サッカー選手権で、見事に2連覇を成し遂げたが、U-15の練習環境について伺う。また、2月23日のルヴァンカップホーム開幕戦で、山口知事がサガン鳥栖アカデミーの練習施設の県内整備について明言されたが、その内容と佐賀県の動向について伺う 2. 是非とも、本市に練習場の整備を進めてほしいが、県事業への本市の協力について伺う	市	長	
		2. 学校給食について	1. 新型コロナウイルス感染症拡大による学校給食について (1)危機管理体制について (2)想定される中で、どのような場合に給食を提供できなくなるのか。また、給食はどうするのか (3)給食が停止した場合の食材について 2. 食材納入について (1)小学校センター方式と中学校民間委託方式での違いについて (2)市内事業者の割合について 3. 地産地消の取組について (1)本市のこれまでの地産地消の取組について (2)鳥栖産食材の利用割合について (3)鳥栖産食材の利用拡大について。食育・地元農業の活性化を目的とした鳥栖産食材の利用拡大を図っていただきたいと考えるが、本市の見解を伺う	市 教育	長長	
9	江 副 康 成 (自民党鳥和会) [3月9日]	1. 安心安全なまちづくりについて	1. 免震構造に特徴がある新市庁舎がこれからいよいよその姿を現すこととなりました。市民の安心安全を確保するための新庁舎であります。これから60年先まで見据えたものになっているのかお尋ねします。 また、デジタル田園都市構想実現に向かって日本は今走り始める時だと認識していますが、そのモデルとなるスマートシティ・スーパーシティも鳥栖市が視界に収められているのかお聞きします	市	長	
		2. ワクチン接種につ いて	1. 新型コロナオミクロン株が流行する昨今、通常診療とワクチン接種及び陽性者への対応など地域医療の現場では、その家族も含めて厳しい対応がいまだに永く続いています。また、5歳から11歳以下のワクチン接種も始まりました。今回、現場目線の問題認識について地域医療・学校・家庭に絞ってお聞きします。 また子宮頸がんワクチンの扱いについてお尋ねします	**************************************	長長	
10	野 下 泰 弘 (立憲民主党議員団)	1. 男性の育休について	1. 市役所において男性育児休暇取得状況と目標について 2. 民間企業への育休推進の取組について	市	長	
	[3月9日]	2. 子ども食堂について	1. コロナ禍における子供の生活環境の変化を市はどうとらえているのか2. 市内の子ども食堂の状況と支援について	市	長	
		3. 鳥栖市の財政につ いて	1. 積立金現在高の使用計画について 2. 超高齢化社会による財政の考え方について	市	長	

			令和4年3月定例	4	110. 0
発言 順位	氏 名(会派) [質問予定日]	項目	要旨	答判	ř者
11	中川原豊志 (自民党鳥和会) [3月10日]	1. 新鳥栖駅前の整備 について	 新鳥栖駅の利用状況について バスプールの利用状況は ホテル進出の状況は 駐車場の利用状況と料金について 駅前の整備についての市の考え方は 	市	長
		2. JR無人駅のトイ レについて	 トイレ廃止の原因と利用者への周知について 利用者の反応は 市としての対応は 市で管理することの課題は トイレを新設する事への市の見解は 	市	長
12	和 田 晴 美 (新風クラブ) [3月10日]	1. 災害避難時の援助を必要とする方の避難方法	1. 高齢者、障害を持つ住民の避難方法また避難施設の環境及び住民をはじめとする連携体制について	市	長
		2. ひとり親サポート	1. 鳥栖市におけるひとり親の要望、世帯数などの事情と支援方法	市	長
13	成 冨 牧 男 (日本共産党議員団) [3月10日]	1. 嘱託員の委嘱につ いて	1. 幸津地区には現在嘱託員が不在である。支障が出ているのではないか。不在となっている理由はなにか。早くつくるべきではないか	市	長
		2. 税の徴収事務(滞 納処分)について	1. 滞納者であっても、人権尊重の立場からの対応が求められていると思うが法の運用も含め、適切に行われているか(1)徴収事務の流れについて(2)納税相談について(3)差し押さえ禁止財産について(4)執行停止処分について(5)その他	市	長
		3. 放課後児童クラブ について	1. 待機児童解消は、市長公約である。任期まであと1年足らず。どのようにして任期中の待機児童解消を目指すのか2. 労働組合の調査の中でなかよし会指導員によるパワハラの実態が明らかにされた。いよいよ放置できないところにまで来ていると思うが事務局の認識は。毅然とした対応が必要と思うがどうか3. 指導員不足解消のために国の補助金、放課後児童支援員等総合改善等事業を活用すべきでは	**************************************	長長

			令和4年3月定例	IX IV	0.0
発言 順位	氏 名(会派) [質問予定日]	項目	要旨	答弁	者
14	池 田 利 幸 (公 明 党)	 GIGAスクール 構想について 地域共生社会の実 現に向けての取組 	 現状と進捗について 課題点及び今後の展望について 障がい児対応について WiーFi環境整備のアンケート調査結果について タブレット端末の持ち帰りとオンライン学習について 人員体制及び教職員の負担について 地域共生社会(重層的支援)の現状について 今後の方向性と取組について インクルーシブ教育のシステム構築及び現状について 主幹部署と今後の展開について 	市教育市教育	長
		3. 渋滞緩和対策	基里地区からの地区要望について 高橋の渋滞緩和について 県との連携協議について 東西連携に係る鳥栖駅の考え方について	市	長
15	牧 瀬 昭 子 (彩りの会)	1. 鳥栖市原発避難計画の検証	1. 鳥栖市の地域住民に対する原子力災害避難計画の責任は誰にあるのか? 2. 「原子力防災のてびき」によると「30 k m以遠の地域にお住まいの方・状況に応じて屋内退避・基準値以上の空間放射線量率が測定されれば避難(一時移転)」と書かれているが、「基準値以上」とは、いくつか?その情報をどのように市民に伝えるのか?市民はどこに避難したら良いのか?鳥栖市民の原子力避難計画は作成されているのか? 3. 鳥栖市における放射性物質拡散・避難時間・避難ルートのシミュレーションを行なっているか?避難計画作成や避難計画の準備、避難実行には、相当の業務量と経費が発生するが国県からの補助金はないのか? 4. 鳥栖市として安定ョウ素剤の事前配布を実施しないのはなぜか?重大事故の際、鳥栖市民の安定ョウ素剤は準備されているのか?どこにあるのか? 5. 市民に対する防護措置はどのような手段で伝達されるか?伝達を確認するのにどのくらいの時間を想定しているか?	市	長
		2. 放課後児童クラブ・待機児童問題	 待機児童解消とはどのような状態をいうのか?待機児童をいつまでに、どのように解消する計画なのか?どのように年次計画を立てているのか? 各学校の待機児童数は現時点で何人か? 第2次子ども・子育て支援事業計画を遂行出来ない理由は如何してか? 図工室を利用している若葉・田代小のなかよし会の利用は「放課後児童クラブ運営指針」を遵守出来ているのか? (仮称)生涯学習センターを放課後児童クラブで使用出来ないのはなぜか? 指導員の処遇改善なしに、どのようにして指導員を確保するのか?放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業、放課後児童支援員等処遇改善等事業を活用しない理由はなぜか? 		長長

=4× →	T. 友 (人)に)		————————————————————————————————————	云 No. 7
発言 順位	氏 名 (会派) [質問予定日]	項目	要旨	答弁者
16	中村直人(立憲民主党議員団)	1. 令和4年度予算に ついて	1. 市長任期最後の本格的予算の考えについて 2. 各部各課の主要課題は何か	市 長教育長
		2. コロナ対策・対応 について	1. 今日までの各部のコロナ対策の内容は何か(支援事業等) 2. 内容に課題はなかったか 3. これからの対応について 4. 学校施設の一般開放について	市長教育長
		3. 味坂スマートイン ターチェンジ(仮称) 周辺の整備について	1. 要望の多い、運動公園(運動広場)の整備は考えられないか	市長
17	西 依 義 規 (新風クラブ) [3月11日]	1. 目指す! 鳥栖の未来(橋本やすしオフィシャルサイトより) 「鳥栖駅周辺を見直して、明るく活気のあるまちづくり」について	1. 鳥栖駅周辺を見直すとは、整備手法を見直すのか。JR九州との包括的連携協定も白紙なのか 2. 県が施行者となる連続立体交差による整備の可能性はないのか 3. 本年度も都市開発基金に約1億円を積立てようとしているが、基金額がいくらになったら開始できるのか。新庁舎、新産業集積エリア等どの事業の目途がたったら開始できるのか	市長
		2.「健康スポーツセ ンターの建設」につ いて	1.健康スポーツセンターと鳥栖駅周辺整備の優先順位はどちらが高いのか。本当に、任期中に着工できるのか。一旦白紙にして、民設民営等も視野に再検討してはどうか	市長
		3.「運動ができるグ ランドの確保」につ いて	1. 運動ができるグラウンドの広さや設備等の具体的なイメージは。用地の確保、選定は 2. 味坂スマートIC(仮称)周辺の開発予定地区の川沿いに 公園または調整池の役割を持つグラウンドを整備してはど うか	市長
		4. 「インクルーシブ 保育・教育」につい て	1. 共に学び成長する子ども条例4条3項の「保育・教育環境における合理的配慮」は、子ども・保護者の意向を尊重するものになっているのか。第9条の「議会への報告」の実態はどうか 2. 小学校にインクルーシブ遊具を設置する予算が上がっているが、市民公園に整備予定の遊具広場にも設置してはどうか	市長教育長
		5.2019 年市長選挙公 報より、「なかよし 会の待機児童解消」 について	1. 令和4年度の申請状況が小学校によって違うようだが、市内の申請児童(せめて小1~3年生)が利用できるようにすべきでは。また、待機児童の学校から、空きのあるなかよし会への利用を希望した場合の移動費(タクシー代等)は、市が負担すべきでは 2. 放課後子ども教室を平日夕方に開催し、待機児童解消に活かしてはどうか。また学校施設を活用し地域と共に子どもを育てる「アフタースクール」を取り入れてはどうか	市長教育長